

しよいん まえにわ

《書院前庭の庭木》

書院は、高梨家の最も格式の高い客間である。したがって、その前庭も、邸内でもっとも格式の高い庭に位置付けられる。

主木は黒松と柏。しゅぼく くろまつ かしわ にわ しょうはく「庭に松柏」という。

黒松は厳しい環境でも育つ常緑樹。一年中、緑の葉を付けていることから、不老長寿の縁起物。よりしろ神の依代とも言われる。

柏は、落葉樹ではあるが、秋に紅葉した葉が落葉することなく冬を越し、春になると落葉と同時に新芽が出ることから、子孫が途切れることなく代々続くことの象徴である。

洋間側の紅葉は紅枝垂。もみじ べにしだれ春に出る葉の紅色が鮮やか。

書院戸袋前の樹は木斛。とぶくろ もっこく古くから人気のある庭木。

千両、万両と合わせて植えて、
「千両、万両、もってこい」に掛けている
という説もあるよ!